

しあわせ メッセージ
幸福の手紙 審査総評

・全体として父、母を始めとする家族に対する感謝が多かったが、本年の傾向として、応募する皆様の年齢もあるのか、ゲームやインスタの友人、ユーチューブなどに感謝するというここにもIT化(AI化)が進んでいて、対人間という感謝対象が広がってきているという感じがしています。今日は対人を中心に選定させて頂きましたが、今後のベクトルは違う広がりを見せるのかと考えさせられました。

・逆境を乗り越えた人たちには本当に優しさが宿ることが良く理解できます。「ありがとう」の言葉に幾重もの感謝の思いが重なって見えます。

・普段の何気ない日常生活の中に「幸せ」があり、それに対する感謝の気持ちはあるものの、なかなか口に出して言えない、日本人気質ともいうのでしょうか。感謝の気持ちを誰に向けるのか、と、問われれば、多くの方が真っ先に家族と答えています。

幸せの青い鳥は、実に身近なところに居るのに、気づかずに、意識せずに過ぎているのかもしれない。気づいていたとしても素直に伝えられないのでしょうか。素直に伝えることで、もっと心が豊かになり、幸せな気持ちも大きくなるものと思います。皆様から寄せられたメッセージからそのような思いを強く抱きました。

・家族に向けての感謝のことばが多くありました。

「今」伝えなければ伝えられない、という切実な気持ちがあります。「後悔しないように」という思いが全般から伝わります。

コミュニケーションの大切さを伝えていく材料が沢山ありました。

・208点全ての作品を3回程読みましたが、家族、両親等に関わる幸福感、感謝の心が留学生をはじめ、多くの作品に見られました。介護実習、友たち、医療、音楽、子育て等、様々な面で、幸福、感謝の心が伝わってきました。中でも家族愛、特に母の存在、父の存在に対する深い愛、親が子供に対する愛、子供が親に抱く愛、感謝の心を深く感じ得る作品が多かったと思います。

・全体を通じて家族、特に母親に感謝する作品が多くみられました。日常生活の中で家族の優しさや気遣い、サポートがあって、今の自分があることに気付かされたことは、それぞれの人生において良い機会になったと思います。

その中で、大きく3つの分野に分類し、選出しました。介護福祉士養成校の学生と思われる作品としてNo37、No47を選出。留学生の皆さんは、大変な思いをして介護福祉士を目指して頑張っている様子が伺えました。応援したい気持ちでいっぱいです。No47は、多国籍の留学生達と共に学び成長していく中での感謝の気持ちが表れていました。その他、No8、No21、No57も良い作品でしたが、選出には至りませんでした。

臨床検査技師養成校と思われる作品の中から、No67、No76、No87を選びました。様々な苦難を乗り越え、臨床検査技師を目指す中で、頂いた恩に感謝する様子が良かったです。その他、No120の作品も良かったのですが、選出には至りませんでした。

その他、No100、No153、No200、No205の作品を選びました。どの作品も家族に対する感謝の気持ちを素直に表現されています。No185は、幼稚園の時から友人の何気ない関わりが素敵です。「こんな友人がいて幸せですね。」と言いたいです。10番目の作品を選ぶのに大変苦労しました。No146か、No205か、悩んだ末、No205を選びました。私も人に感謝する気持ちを忘れず、日々を送っていきたいと思います。